

小田原市教育委員会協議会会議録

1 日時 平成21年1月22日(木) 午後7時13分～午後7時37分

場所 小田原市役所 601会議室

2 出席した教育委員の氏名

1番委員 山田浩子

2番委員 青木秀夫 (教育長)

3番委員 桑原妙子 (教育委員長職務代理者)

4番委員 和田重宏 (教育委員長)

5番委員 山口潤

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

学校教育部長 和田豊

教育政策課長 曾我勉

学校教育課長 柳下正祐

教職員担当課長 西村泰和

課長補佐兼指導主事・指導担当主査事務取扱 長澤貴

学校保健課長 伊澤秀一

学校保健課長補佐・給食担当主査事務取扱 柳川美恵子

(事務局)

教育政策課課長補佐・教育政策担当主査事務取扱 座間亮

教育政策課上級主査 望月啓一郎

4 議事

(1) 報告事項

①市議会12月定例会の概要について(教育政策課)

②学校給食費の改定について(学校保健課)

5 議事の概要

(1) 報告事項

①市議会12月定例会の概要について（教育政策課）

教育政策課長…報告事項「12月定例会の概要について」御報告させていただきます。

資料1をご覧ください。12月定例会は、11月27日から12月16日まで開催されました。教育委員会関係の概要は、資料の1枚目のおりです。まず、議案といたしまして、片浦中学校を平成21年度をもって廃止するための条例議案「小田原市立学校条例の一部を改正する条例」が原案可決となりました。補正予算につきましては、厚生文教常任委員会に付託され、詳細審議が行われた結果、本会議において原案どおり可決いたしました。なお、内容につきましては、教育委員会11月定例会でご説明したとおりですので、後ほど資料の2枚目をご覧くださいいただければと存じます。

また、陳情につきましては、図書館建設等に関する陳情が提出され、同委員会に付託されました。陳情書内容は、資料の3枚目のおりです。小田原市立図書館の老朽化を踏まえ、建設が予定されている駅前再開発ビルの中に開設を求める等のもthingですが、新総合計画の策定に向けた課題別検討委員会「小田原駅・小田原城周辺まちづくり検討委員会」での検討の推移なども見守る必要のあることから、継続審査となったものです。

また、一般質問につきましては、資料の4枚目をご覧ください。今回は、6人の議員から18の質問がありました。項目としては、温水プールの計画や利用状況について、学校給食における食育の取り組み状況について、子どもたちの遊び場の確保について、本市の特別支援教育の現状、課題、今後の方向性について、発達障がい児の支援の充実について、学校でのいじめや暴力の現状や対策、少人数学級編制の現状やその効果、児童・生徒によるトイレ掃除の現状について、そして、学校給食における地産・地消の取り組みについて、質問がありました。詳細については後ほど資料を御覧いただければと存じます。以上でございます。

(質 疑)

桑原委員…児童による小学校のトイレ掃除は、現在3校とのことですが、今後増えていくのでしょうか。

青木教育長…児童・生徒によるトイレ掃除は、以前、教育委員会の席上でも話題になったように思います。

学校教育課長補佐…この質問は、横浜市の例がきっかけになったようです。本市では、中学生は便器等以外の清掃を行っています。小学生は、衛生面の問題から取り止めるようになってきたようです。実施の3校も、手洗い場や、出入口部分が対象になっています。学校の教育活動の一環ですので、衛生面と清掃内容から、学校長が十分検討し、対応するということになるかと存じます。

桑原委員…実施が減少したのは、〇157の件が関係しているのでしょうか。

学校教育課長補佐…正確なことは分かりませんが、一因であることは確かだと思います。

青木教育長…小学生の場合は、衛生面から実施が減っていますが、自分たちで使っているところは、自分たちで掃除するというのが大事という考えからの質問でした。本市では、今のところ推進するという方向性は出していません。

桑原委員…静岡県の「熱海少年自然の家」という所では、小学生も、便器を含めてトイレ掃除をしています。これまで衛生面の問題が生じたとは聞いていませんが、自治体により考え方は違うということでしょうか。

青木教育長…すぐに同じ方針をとるという考え方はないのですが、教育委員会の席上でも、同じような提案があった経緯も考え、もう1回考えてみることは必要かと思えます。

桑原委員…家庭でも家事を手伝わせなくなっていますので、「とんでもない」という声もあるのででしょうか。

和田委員長…衛生面も、昔とは比べものにならないほど良いわけですけどね。

山田委員…校内暴力ですが、小学校での暴力行為とあるのは、具体的にどういうものでしょうか。

学校教育課長…本市の場合、けんか程度ということでございます。中学校では残念ながら暴力行為があり、それなりの処分例もあります。また、いじめにつきましては、以前、高い数値が出たことで、主に中学校の教職員がきっちり指導したことで、それからは非常に減っております。

(その他質疑・応答なし)

②学校給食費の改定について（学校保健課）

学校保健課長…報告事項「学校給食費の改定について」御報告させていただきます。資料2をご覧ください。改定の理由ですが、本市の学校給食費は平成11年度に改定後、これまで10年間据え置かれてきました。しかし、平成20年度に入ってから学校給食で使用する食材費が急騰し、献立内容の維持が困難になってまいりました。このため、モデル献立の内容を見直し、最近の経済情勢等を考慮して保護者の負担を極力抑え、値上げ幅については、一律100円としたものでございます。改定後の給食費は、4月から適用いたします。内容は、資料の表のとおりです。改定の経過につきましては、食材費の急騰を受け、学校給食費検討委員会で3回にわたり検討を行った結果、平成21年度からは改定をせざるを得ないということで、具体的な値上げ幅の検討に移っていきました。検討は、近隣各市の食材の価格、主食の量、肉や野菜の使用頻度、標準献立等を比較検証しながら、保護者負担をできるだけ抑えるという観点から行っていきました。そして、昨日の学校給食会総会で承認されたものです。その際の付帯条件としては、改定後3年間は、改定額を維持するが、物価等の変動が著しい場合は、見直しを行っていくということです。資料の2枚目は、小中別の給食費の推移です。平成11年以来の値上げということでございます。資料の3枚目は、県内各市の値上げ状況です。小学校では、実施19市のうち、10市が値上げ又は値上げを予定し、6市が値上げを検討中です。中学校では、実施7市のうち、2市が値上げ又は値上げを予定し、2市が値上げを検討中です。以上でございます。

桑原委員…本市の改定率が低い理由は何でしょうか。

学校保健課長…前回は、消費税率の引き上げにより値上げ率が高かったということと、今回は、モデル献立を見直したことによるものでございます。

山口委員…1年のうち、給食の日数は半分くらいなのですね。川崎市の小学校の値上げが3・4年生というのは、どういう意味でしょうか。

学校保健課長…川崎市の場合は、1・2年、3・4年、5・6年と3段階で定められておりまして、値上げ幅は、一律350円です。

桑原委員…高学年の方が量が多いからということでしょうか。

学校保健課長…そういうことになります。5・6年は、4,050円、1・2年は3,650円となっております。これは川崎市だけです。

(その他質疑・応答なし・協議会を終了)